

## 水稲「森のくまさん」の栽培適期

三ツ川昌洋・畠山誠一  
(熊本県農業研究センター)Masahiro MITSUKAWA and Seiichi HATAKEYAMA:  
Transplanting Time for Stable Cultivation of Rice "Morinokumasan"

中生で極良食味の水稲品種「森のくまさん」は、熊本県で育成し、1996年に熊本県の普通期栽培に適する品種として奨励品種に採用されたが、移植期移動に伴う特性の変動については明らかにされていない。そこで、5月中旬から7月1半旬まで移植期を移動したときの生育、収量および品質の変動を調査し、「森のくまさん」の栽培に適する移植期を明らかにした。

## 1. 材料および方法

試験は熊本県農業研究センターの精密水田(灰色低地土)で、1996年から1999年まで4ヶ年行った。「森のくまさん」の比較品種として同じ中生の「ヒノヒカリ」を供試した。移植期として、5月15日、6月5日、6月18日(標準)、6月25日、7月2日の5水準を設けた。各移植期とも、育苗日数は30日、栽植密度は22.2株/m<sup>2</sup>(30cm×15cm)、施肥量は窒素成分で基肥0.5、穂肥(出穂前20日)0.3、晩期穂肥(出穂前10日)0.2(kg/a)とした。

## 2. 結果および考察

「森のくまさん」の移植期移動による出穂期および成熟期の変動パターンは「ヒノヒカリ」に極めて類似し、各移植期とも「ヒノヒカリ」より1日~まれに2日遅い出穂であった。

稈長は、標準的な移植期(6月18日~25日移植)と比較して、早い移植で長く、遅い移植で短かった。稈長の長短と倒伏程度に直線的な関係はなかったが、6月5日移植は他の移植期より過繁茂による倒伏が目立った。なお、「森のくまさん」は、「ヒノヒカリ」より倒伏がやや少なかった。

収量は、標準的な移植期と比較して、早い移植期で多く、遅い移植期で少なかった。この傾向も「ヒノヒカリ」と同様であった。収量構成要素については、両品種ともに移植が早いほど穂数が増加し、千粒重が減少する傾向にあった。

玄米品質は、総じて「ヒノヒカリ」と同等かやや良く、移植期による違いは少ないが、両品種とも5月15日移植では心白・乳白がやや多く、検査等級が低い傾向にあった。

本試験で設定した移植期では、そのいずれにおいても生育、収量、品質に甚大な障害はみられなかったことから、5月中旬から7月1半旬移植の範囲で栽培は可能であると判断される。その中でも6月中~下旬移植は倒伏や収量の低下等が少なく、最も安定した移植時期と考えられる。なお、6月中~下旬移植以外では、以下の点に注意が必要である。①早い移植ほど多収となり易い反面、5月15日移植では品質低下、6月5日移植では倒伏の危険がそれぞれ大きい。②7月1半旬移植では目立った障害はないが、他の移植期より生育量が小さいため、低収となることもある。

第1表 移植期と出穂期、成熟期

	移植期 (月/日)	出穂期 (月/日)	(年次幅) (日)	成熟期 (月/日)	(年次幅) (日)
森のくまさん	5/15	8/12	(9)	9/23	(10)
	6/5	8/20	(3)	10/4	(6)
	6/18	8/26	(4)	10/12	(11)
	6/25	8/29	(3)	10/17	(8)
	7/2	8/31	(4)	10/20	(11)
ヒノヒカリ (比較)	5/15	8/11	(10)	9/22	(10)
	6/5	8/19	(3)	10/3	(5)
	6/18	8/25	(4)	10/12	(11)
	6/25	8/28	(3)	10/16	(8)
	7/2	8/30	(4)	10/19	(11)

注) 年次幅: 最晩年の期日-最早年の期日

第2表 移植期と稈長および倒伏程度

移植期 (月/日)	「森のくまさん」		「ヒノヒカリ」	
	稈長 (cm)	倒伏程度	稈長 (cm)	倒伏程度
5/15	96	0.4	97	0.6
6/5	98	1.7	100	1.8
6/18	91	0.8	92	1.2
6/25	92	1.1	92	2.2
7/2	84	0.2	86	0.3

注) 数値は1999年の値を含まない(台風第18号による倒伏が著しいため)

第3表 移植期と収量、収量構成要素および品質

移植期 (月/日)	収量 (kg/a)	穂数 (千/m <sup>2</sup> )	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	検査等級 (1~9)	
森のくまさん	5/15	61.5	41.0	73.4	21.6	3.3
	6/5	60.3	41.4	71.2	21.2	2.8
	6/18	56.6	41.4	66.4	21.6	3.5
	6/25	53.8	37.5	64.2	21.6	3.3
	7/2	55.0	37.2	71.7	22.4	3.3
ヒノヒカリ (比較)	5/15	60.5	40.9	70.1	21.3	3.7
	6/5	57.1	41.2	69.8	21.1	3.0
	6/18	56.2	42.4	65.0	21.4	3.3
	6/25	54.5	38.9	68.0	21.9	3.5
	7/2	54.2	35.5	69.7	22.1	3.0

注) a) 検査等級: 1(1等上)~9(3等下)に数値化した  
b) 全項目ともに1999年の値を含まない(台風第18号の影響が大きいため)